

ス量の割合等乗じて補正した効率をいいます。

補正後の脱硫効率の算定には、34～44 ページを参照し、E様式で算出してください。その算出値は、%表示で小数点以下3けた目を切り捨て、2けたまでとしてください。

(3) B、C及びD様式を用いる場合の算定方法

B、C及びD様式を用いてSOxの年間排出量を算出する場合は、算定方法が異なりますので、B、C及びD様式それぞれの裏面・排出ガスの測定に関する項及び記載例(21～33 ページ、34～49 ページ)を参照のうえ、作成してください。

(4) 具体的な計算

SOxの月間排出量及び年間排出量を求める際は、次の点に注意してください。

- ① 月間排出量は、小数点以下2けた目を切り捨て、1けたまでとしてください。
- ② 燃原料の種類ごとの年間排出量は、月間排出量を積算し、小数点以下1けたまでとしてください。
- ③ 年間のSOx総排出量は、すべての様式(A、B、C及びD様式)で算定した年間排出量を合計してください。なお、この年間のSOx総排出量に、1 m<sup>3</sup>N 未満の端数があるときは、これを切り捨ててください。

次ページに、最も標準的な方法であるA様式を用いた場合の計算例を記載しますので、参考にしてください。

(5) 燃原料の硫黄分が「0.01%未満」の場合の記載例

(燃原料より求める場合)

機 構 用

平成××年度 汚染負荷量賦課金  
年間排出量の算定の過程を示す書類 (A)

① 賦課金番号 03300012      工場・事業場名 青空工業(株) 仙台工場      ② No.  $A = \frac{03}{05}$  枚目 / 全枚数

③ 燃原料の種類	名 称	コ ー ド	(該当する単位を○で囲んでください。)
	灯油	113	
④ 使用量の単位	○ kg	m <sup>3</sup> N	

⑥ 脱硫の有無 (該当する数字を○で囲んでください。)

①	無
2	排煙脱硫
3	集じん等脱硫
4	製品等脱硫

⑤ 施設名 浴場ボイラー

⑦ 使用年月	⑧ 使用量	⑨ 密度	⑩ 含有硫黄分	⑪ 補正後の脱硫効率	⑫ SOx 排出量
△△年		g/cm <sup>3</sup>	%	%	m <sup>3</sup> N
1月					
2月					
12月					
年 間 計	⑬ 年間使用量	※	※	※	⑭ 年間SOx 排出量 m <sup>3</sup> N

- 年間に使用した燃原料の総計を記入してください。
- 液体の場合、代表的な密度を記入してください。
- S分は「0.00」と記入してください。
- SOx 排出量は「0.0」と記入してください。